

千葉県版親フレ「きずな」の構成



千葉県版親フレ「きずな」は、大きく「講座活性化プログラム」と「広報戦略強化資料」の2つからなり、家庭教育講座や家庭教育学級などを企画したり、広報したりすることになった方を応援するために開発されたプログラムです。

すでに企画済みの講座であっても、「親の学びプログラム」と組み合わせることで、保護者同士の関わりが活発になり、より充実した学びが実現できます。



講座活性化プログラム

42プログラムから、
選べます。

I オープニングプログラム

【ひらく】参加者の心を開き、学びやすい雰囲気をつくるためのプログラムです。

II 映像教材活用プログラム

【学び合う】VHSやDVD等の映像教材を通して学ぶためのプログラムです。

III 体験型プログラム

【学び合う】読み聞かせなど、実際に体験しながら学ぶためのプログラムです。

IV 座談会プログラム

【学び合う】参加者同士の意見交流を通して、学び合うためのプログラムです。

V エンディングプログラム

【深める】振り返りを大切にして、学びを深めるためのプログラムです。

広報戦略強化資料

広報のあり方を考え、
企画を見直しましょう。

I 成功例から学ぶ ～チラシ作りのポイント～

【集める】定員をオーバーさせた実際のチラシをもとに、チラシ作りのポイントをつかむための資料です。

II 失敗例から学ぶ ～チラシ作りの落とし穴～

【集める】見栄えがよくても、人を集められなかったチラシをもとに、企画面からチラシを考えるための資料です。

III 人が集まる循環を作る ～私たちの目指す姿～

【集まる】リピーターを増やし、口コミなどにより広く参加者を募る仕組みができている例を紹介します。

プログラム選びに迷ったら、まずは、右ページのチャートを使って選びましょう。

まずは

チャート式

で選んでみよう

プログラム選びに迷ったら…



すでに講座等の企画・広報の内容については、ほぼ決まっている

「はい」か「いいえ」で答えていくと、状況に合ったプログラムが見つかります。



いいえ

はい

移動可能な机・椅子があり、多目的室などの場所が、確保できる

招く講師もおおよそ決まっており、講話型の講座になりそうだ

いいえ

はい

いいえ

はい

視聴覚機器の利用ができる

講座を進行することに慣れている

参加者は、知り合い同士が、比較的多い

講師に対して、質疑応答の時間を取ることができる

いいえ

はい

いいえ

はい

いいえ

はい

いいえ

はい

座談会プログラム

映像教材活用プログラム

体験型プログラム
オープニングプログラム

座談会プログラム
エンディングプログラム

座談会プログラム
オープニングプログラム

体験型プログラム
エンディングプログラム

オープニングプログラム

エンディングプログラム

p.25~

p.9~

p.1~
p.17~

p.25~
p.33~

p.1~
p.25~

p.17~
p.33~

p.1~

p.33~

プログラムを選んだら、「広報戦略強化資料」(p.43~)を参考に、企画や広報を工夫しましょう！